

SDGsに関するアンケート調査結果 （インターネットアンケート）



江戸川区は、「ともに生きるまち」を目指して
SDGsに取り組んでいます

令和4年（2022年）3月

江戸川区

1 調査の目的

本調査は、区民のSDGsに関する認知度および取り組んでいる・取り組みたいSDGsの行動を把握し、区のSDGs達成に向けた取り組みの基礎資料とするために実施した。

2 調査期間

令和4年3月1日（火）から令和4年3月21日（祝・月）まで

3 調査方法

区公式ホームページのメールフォームを活用したインターネットアンケート

4 回答者

116人（アンケートページにアクセスし、メールフォームから回答した区民）

5 調査内容

- (1) SDGsの認知度
- (2) SDGsを知ったきっかけ
- (3) 現在取り組んでいる行動
- (4) 今後取り組みたい行動
- (5) SDGs理解促進のために区が取り組む方法について

6 調査結果（概要）

(1) SDGsの認知度

- ・全体では99%が知っているまたは聞いたことがあり、内容まで知っているのは87%であった。
- ・どの年代も知っているが80%以上だった。

(2) SDGsを知ったきっかけ

メディアを通じて知った人が47%と最も多く、次いで仕事（30%）、区の広報（9%）と続いた。

(3) 現在取り組んでいる行動

「【14】マイバッグ・マイボトルを持ち歩く」が96人と最も多く、「【7】見ていないテレビは消す」が73人、「【2】食料品を必要な分だけ買う」が69人であった。日々継続できる身近な行動に取り組まれている。

(4) 今後取り組みたい行動

「【4】読まなくなった本を必要な人に届ける」39人、「【16】地域コミュニティや絆を広げ、安全安心なまちづくりに参加する」が36人、「【3】十分な睡眠をとる」と「【7】見ていないテレビは消す」「【12】3R（リデュース・リユース・リサイクル）に取り組む」が35人だった。取り組みたいことが明確化し、行動に結び付けて考えられるようになってきている。

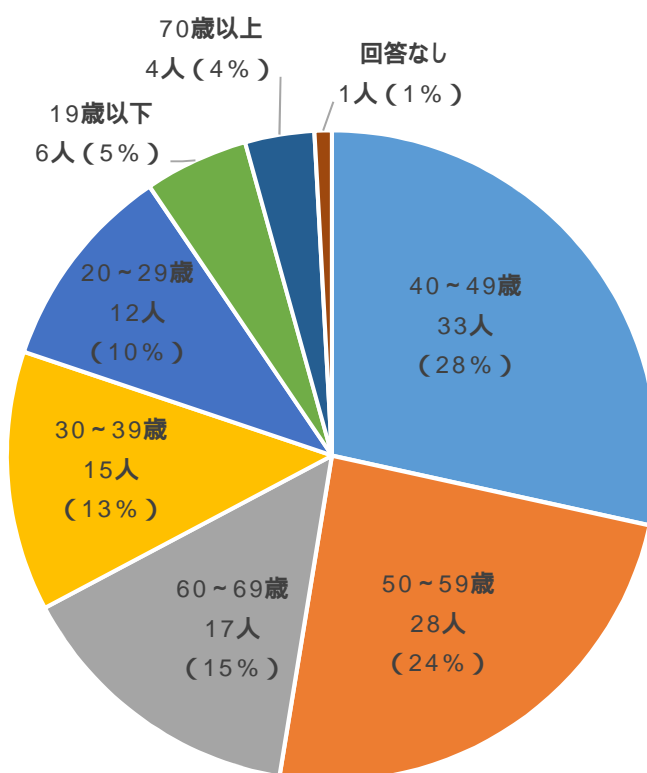
(5) 区民の理解促進のため区はどのような取り組みを行うと良いか

「スーパーやドラッグストアと連携」が71人、「広報誌、SNS、ポスター掲示などでの周知」が61人、「SDGs関連イベントの開催」が52人だった。身近な場所でのSDGsの周知・取り組みに対する関心が高かった。

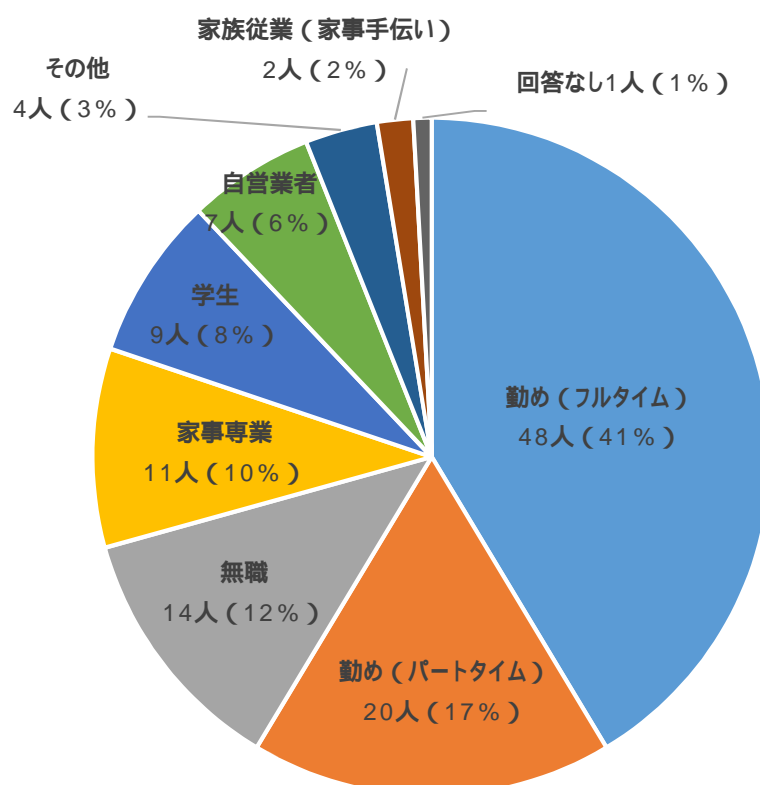
SDGsに関するアンケート調査結果【詳細】

1. 回答者の属性

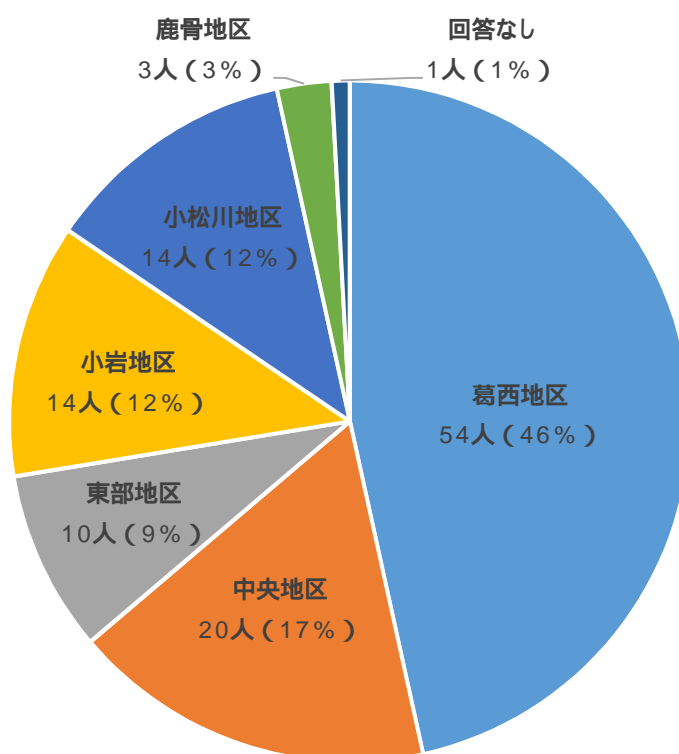
(1) 年齢



(2) 職業

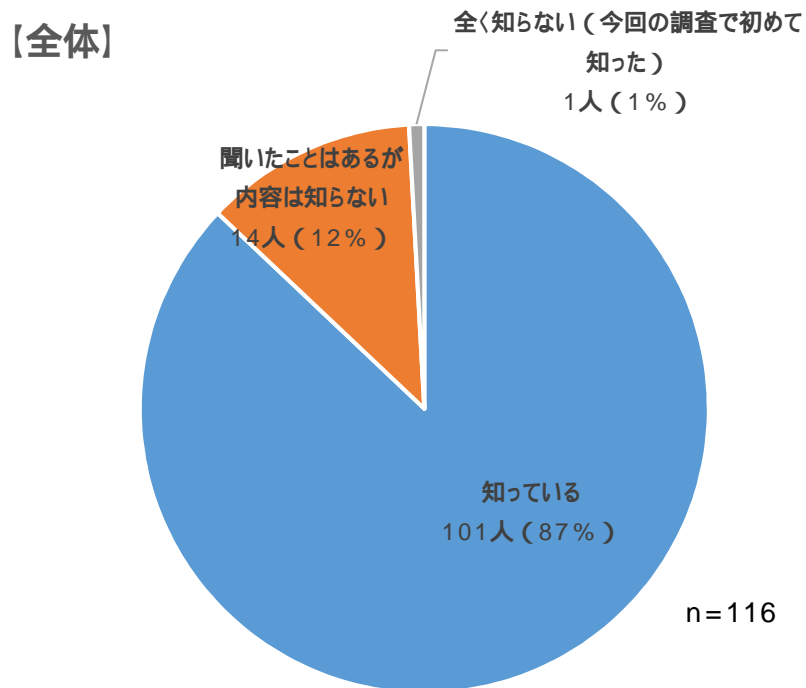


(3) 居住地域

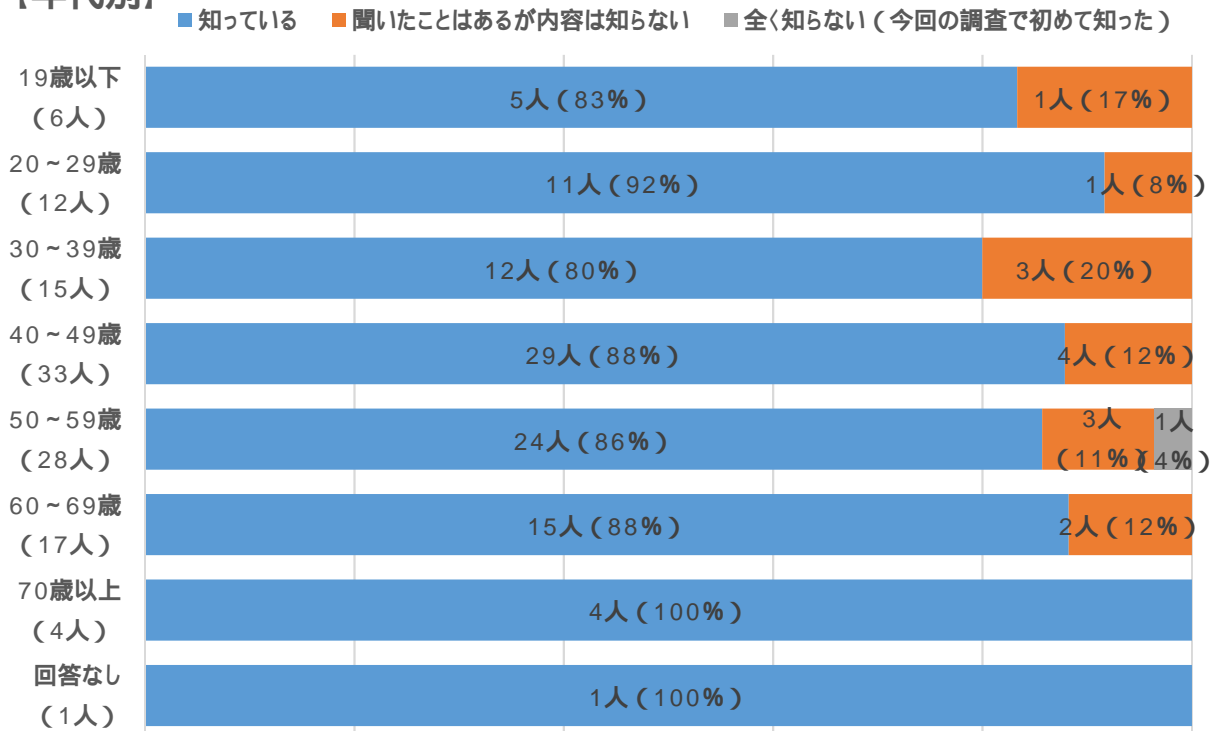


2. 調査結果

(1) SDGsを知っていますか。

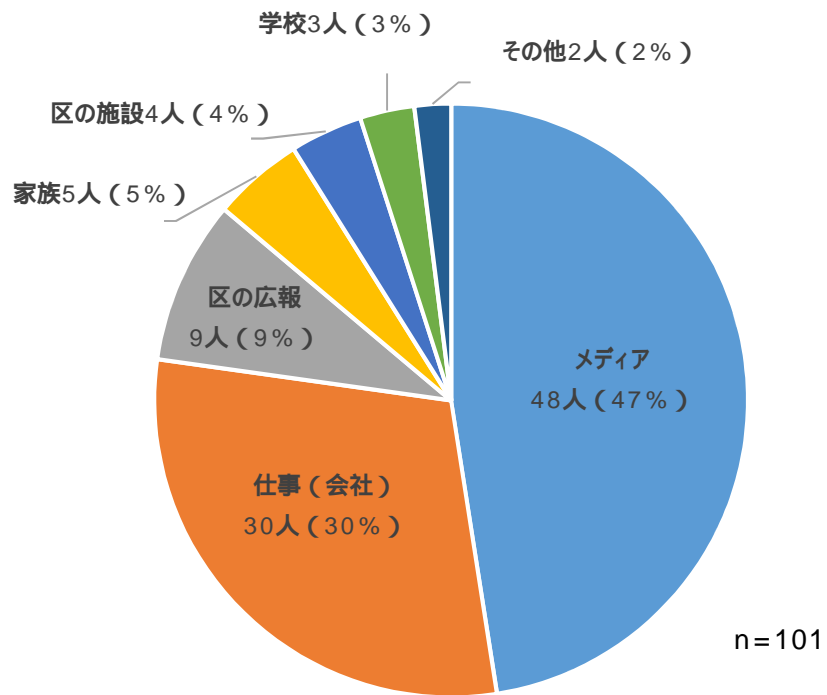


【年代別】



(2) SDGsをどこで知りましたか。

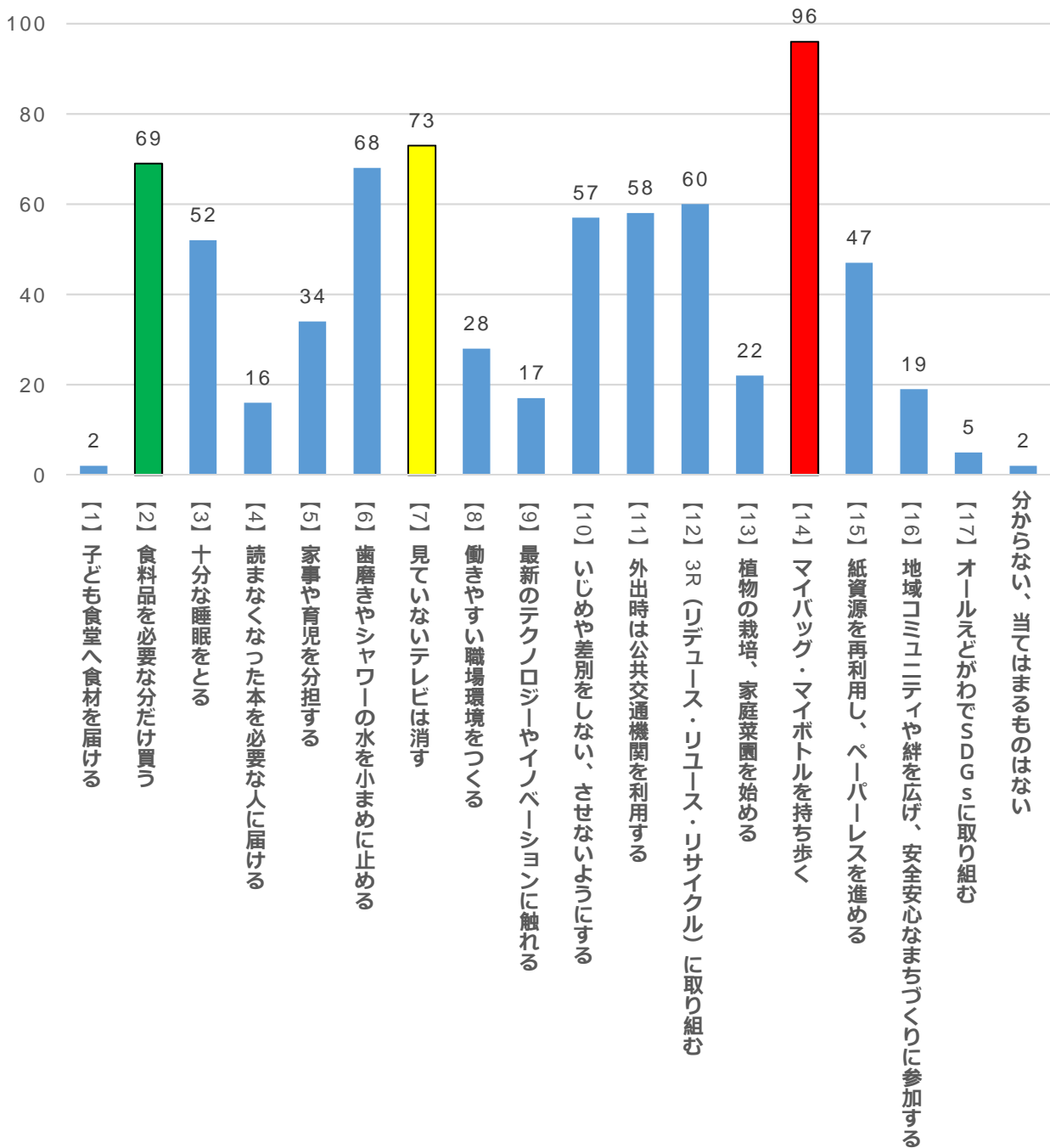
SDGsを知っている人は、仕事を通じて知った人が最も多かった。



「その他」の内訳
区内施設の掲示、食品宅配を通じて

(3) あなたがご自身の生活の中で現在取り組んでいることをお答えください。
(複数回答可)

- 1位 マイバッグ・マイボトルを持ち歩く
2位 見ていないテレビは消す
3位 食料品を必要な分だけ買う

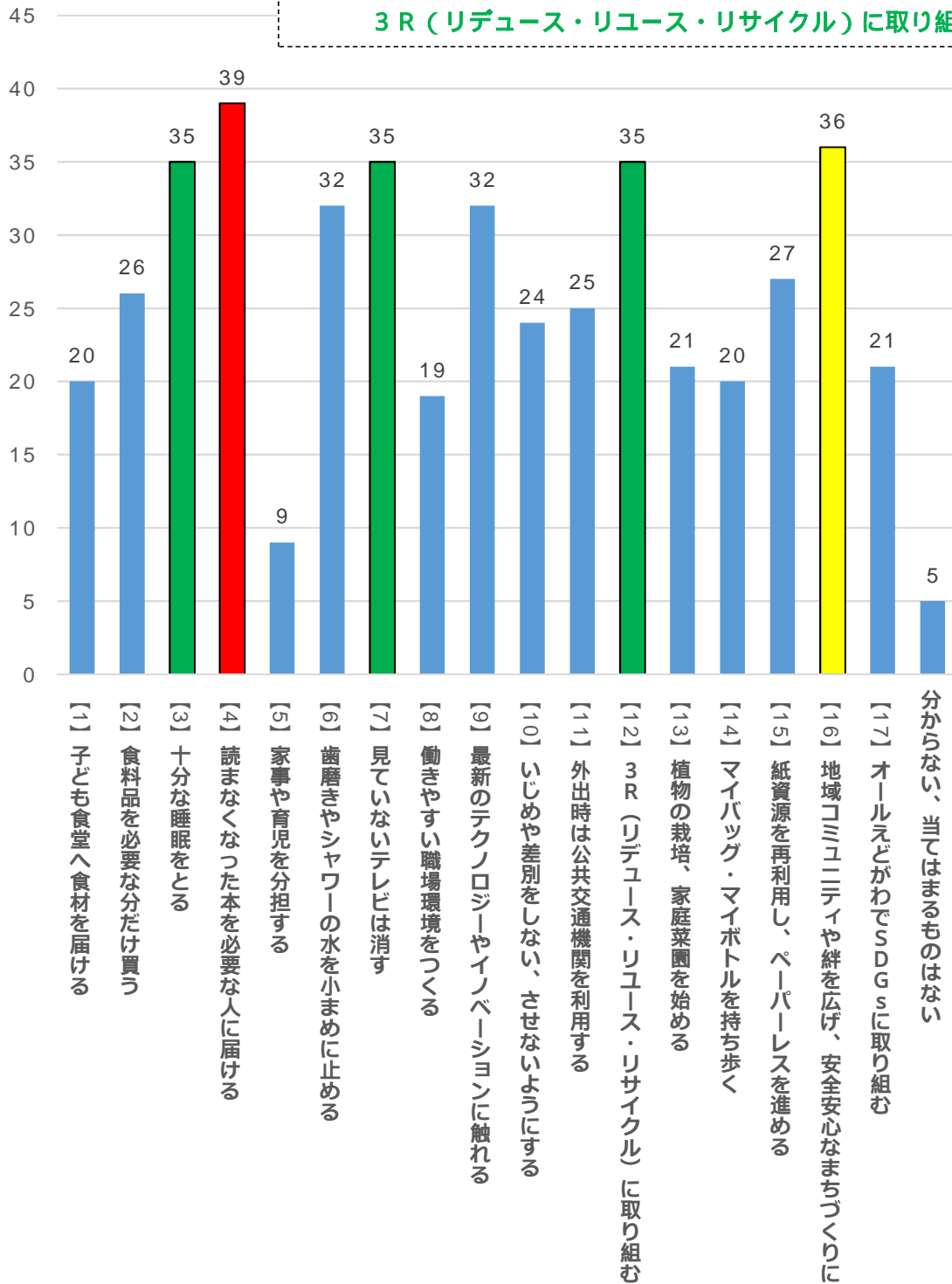


上記以外で取り組んでいる行動 (回答の一部抜粋)
 環境への配慮 (自転車の利用、レジ袋をもらわない、洗剤の使用量を減らす 等)
 SDGs に関する発信、省エネ (節電、省エネ家電買替 等)、ごみの分別・削減・リサイクル、
 食品ロス削減 (残さず食べる、買った食材は使いきる、野菜はまるごと使いきる 等) 等

(5) 今後取り組んでみたいことをお答えください。

(複数回答可)

- 1位 読まなくなった本を必要な人に届ける
 2位 地域コミュニティや絆を広げ、安全安心なまちづくりに参加する
 3位 十分な睡眠をとる
 見ていないテレビは消す
 3R(リデュース・リユース・リサイクル)に取り組む

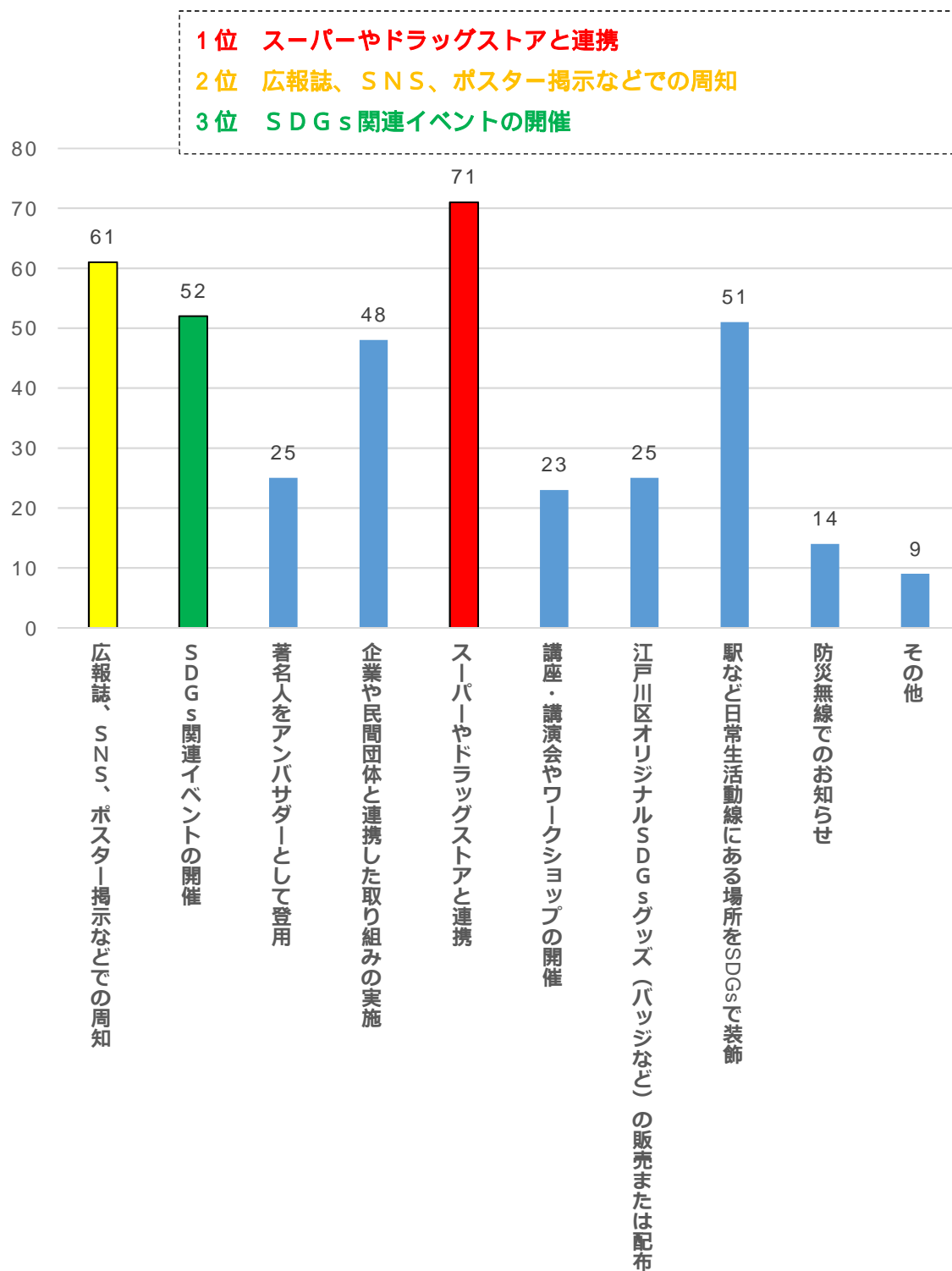


上記以外で取り組んでみたい行動(回答の一部抜粋)

子ども食堂の手伝い、子どもの学習支援、多様性への支援、繋がり作り、
 必要の無いものは購入しない、複数の事柄を合わせた取り組み 等

(5) 区民の皆さんにSDGsをしっかりと理解していただくために、区はどのような取り組みを行うと良いと思いますか。

(複数回答可)



その他の内容 (回答の一部抜粋)

熟年者の理解促進、インターネットやアプリを使用した普及啓発、SDGs行動にポイント付与、具体的な行動例による普及啓発、等